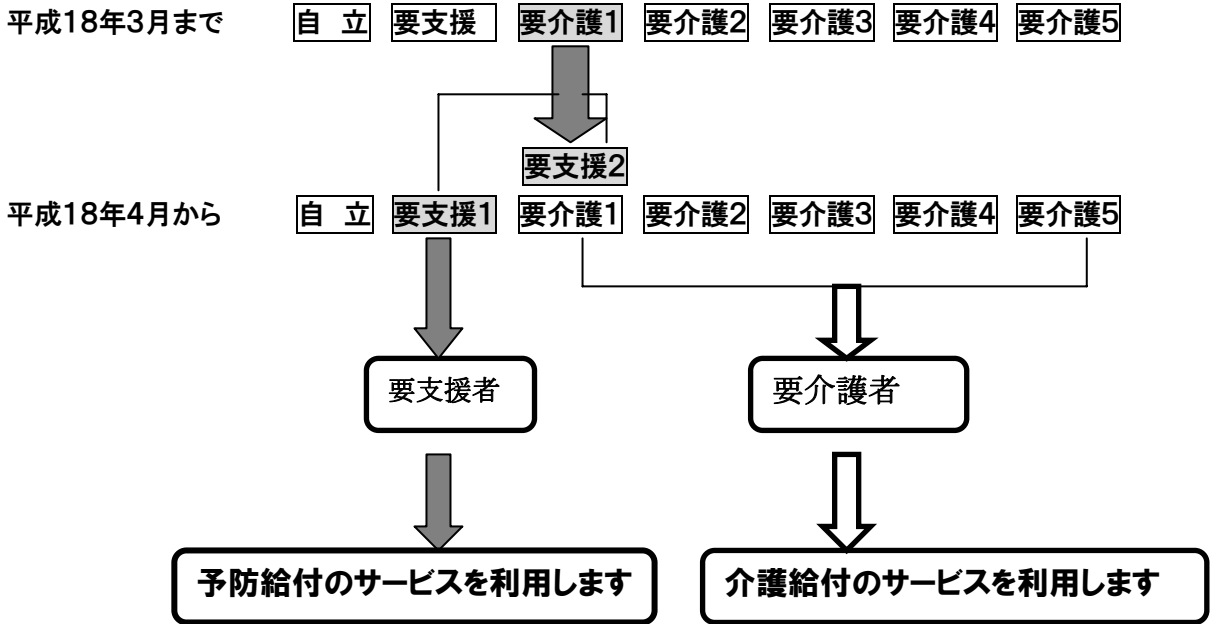


(1) 介護保険事業運営状況

1 要介護認定の見直しについて



介護認定審査会において『要介護1』相当の人の「状態の維持・改善可能性」を審査し、『要介護1』と『要支援2』に分けます。

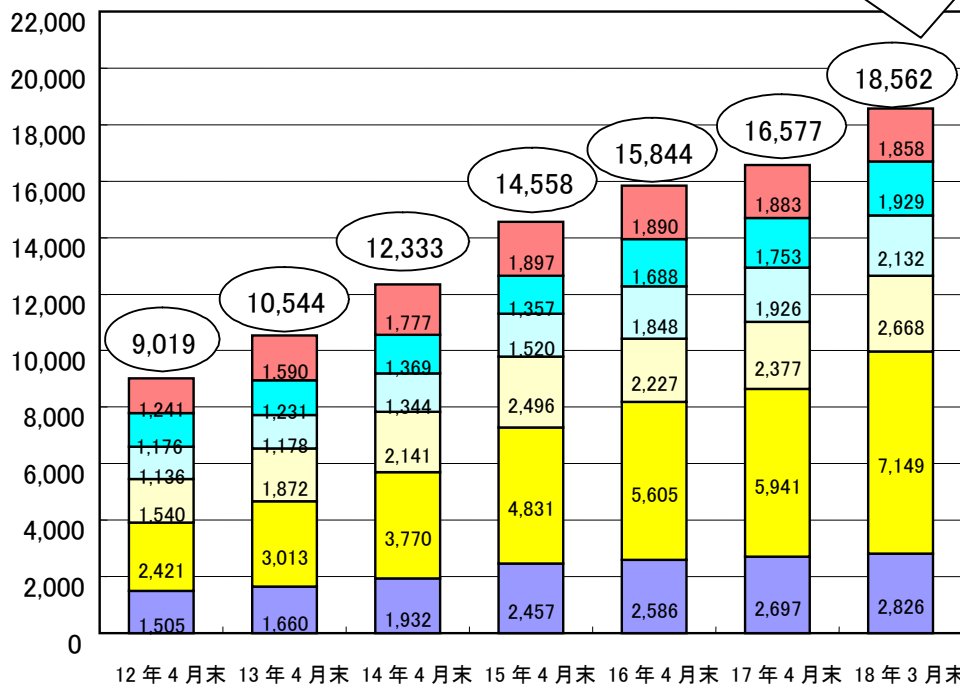
特定疾病の追加

40歳から64歳の第2号被保険者は「末期がん」が特定疾病に新たに追加され、16種類の特定疾病となり、要介護・要支援認定申請の対象になりました。

要介護認定者数

(要介護度別認定者数の推移)

(単位:人)



認定者の急激な増加は、真備・船穂町との合併が主な要因です。

平成12年4月末からの増加率

計	106%
要介護5	50%
要介護4	64%
要介護3	88%
要介護2	73%
要介護1	195%
要支援	88%

2介護サービス利用者数(受給者数)の推移

○6年で、居宅サービスは2.6倍、施設サービスは1.3倍、全体で2.2倍に増加。

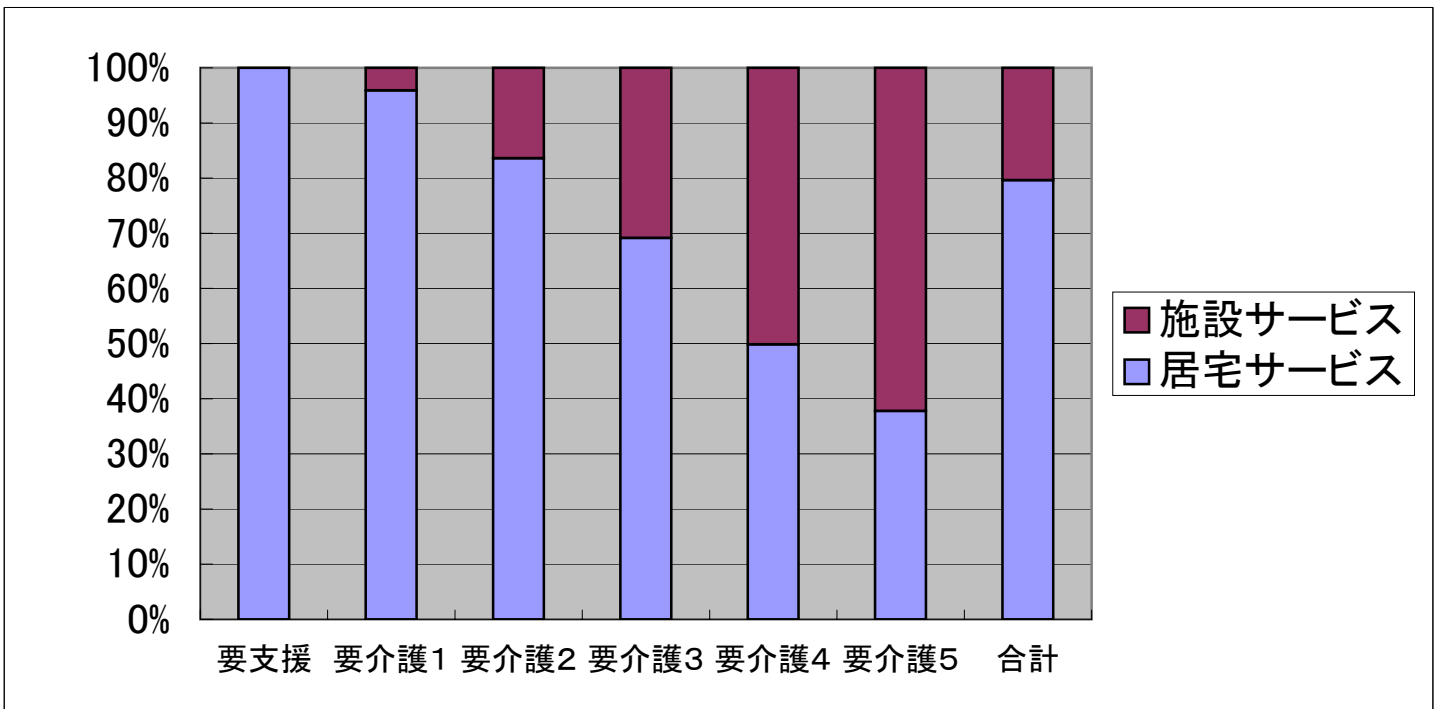
○65歳以上の被保険者数の伸び2.1倍を上回る速度で増加。

	平成12年4月	平成13年4月	平成14年4月	平成15年4月	平成16年4月	平成17年4月	平成18年3月
居宅サービス	4,186	5,680	6,909	8,265	9,299	9,680	11,097
施設サービス	2,133	2,371	2,423	2,511	2,507	2,752	2,840
特養	844	872	917	957	1,019	1,089	1,251
老健	925	1,009	998	1,009	973	1,102	1,158
療養	364	490	508	545	515	561	431
合計	6,319	8,051	9,332	10,776	11,806	12,432	13,937

3要介護度別のサービスの利用状況

○要介護度が高いほど、施設サービスを利用する割合が高い。

要介護4・5については、利用者の半数以上が施設サービスを利用。



4居宅・施設サービスの利用人数および介護給付費

○H12.4と比較して施設サービスの介護給付費が下がっているのは、介護療養型病床群の減少とH17.10の制度改正の影響が考えられます。

種別	利用者数(人)		介護給付費(百万円)	
	H12.4	H18.2	H12.4	H18.2
居宅サービス	4,186	10,896	405	931
	66%	80%	38%	60%
施設サービス	2,133	2,730	659	628
	34%	20%	62%	40%
合計	6,319	13,626	1,064	1,559
	100%	100%	100%	100%

介護保険事業実績(2月分)より